

2023年3月期第3四半期決算に関する電話一斉取材 主な Q & A

※ 当日の質疑応答をそのまま書き起こしたのではなく、当社の判断で簡潔にまとめたものであることをご了承ください。

[通期業績予想を据え置きとした理由]

Q： 対計画で営業収益・利益の進捗が遅れているが、業績予想を変えない理由は。

A： 収益は、通期計画に到達するハードルは非常に高いが、全国旅行支援の継続やインバウンドの回復を活かしてリカバリーしていく。費用については動力費等が増加する見込みだが、修繕費、物件費その他を中心にコストダウンに努める。また、収入の動向を見ながら、回転型ビジネスの積み増しやその他資産売却を検討し、純利益の計画は守っていく。

[広告事業の回復状況]

Q： 広告事業は通期計画に対して大幅に進捗が遅れているが、コロナ前後で広告媒体の価値が変わっているのか。

A： 減収の要因は、構造的な要因と一過性の要因の2つが考えられるが、現時点では景況感や広告主の予算などの一過性の要因によるものが大きいと分析している。

以 上